学校だより

平成29年9月28日

10 月 号

横浜市立あざみ野第一小学校

http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/azamino1/　045－902－7151

一人ひとりの成長に合わせて

校長　　藤馬　直子

校庭の花壇に咲いているコスモスが風に揺れ、本格的な秋のおとずれを感じます。

さて、今年度より秋の開催となった運動会に向けて子どもたちは、これまで培ってきた力を発揮するために、様々な取組を始めています。その一つとして、今年は入場行進をすることにしています。４月より朝会後に、少しずつ段階を踏んで、みんなでそろって歩くことを意識するよう指導してきました。まず、昨年度取り組んできた「立腰」を意識し、縦・横の列や足踏みをそろえるところから始めました。何よりも、６年生と５年生がお手本を示してくれていることが、全校の意識を高めることにつながっています。また今年は、４月から行っている異学年交流の流れも生きています。望ましい人間関係を育てる本校の特色の一つでもありますが、全校遠足や長縄大会、各種集会をしたり、中休みに異学年で遊んだりしています。６年生が１年生と給食や清掃を一緒にする活動は、まだ続いています。６年生に甘える１年生。でも、６年生は１年生のことをきちんと受け止め、考えてあげています。そんな姿を見る度に心が温かくなります。きっとこの１年生も優しいお兄さん、お姉さんに成長することでしょう。

ところで、一昨年、我が家の庭に学校の「皇帝ダリア」を挿し木しました。今年も大きく育っていて、また花を咲かせてくれるものと楽しみにしていました。ところが、先日の台風１８号の強風で倒れてしまいました。前々日に、支柱を立てたのですが、朝起きると、支柱ごと倒れていました。もう一度起こして支え直しましたが、元気がありません。もっと背の低いうちからしっかり支えておくべきだったのでしょうか。遅ればせながら、調べてみました。すると、３月から５月頃に、株を囲むようにあらかじめ太く長い支柱を立てておくとよいことがわかりました。そして、５月から８月にかけては、何回か摘心や切り戻しをして適当な高さに調節するとよいそうです。そうすることによって、その名に相応しい丈夫な「皇帝ダリア」に成長するのだそうです。でも、９月以降に切り戻しをしようとすると花芽を摘むことになり、結果花が咲かなくなってしまうそうです。

子どもも、幼い頃から家庭・学校（幼稚園、保育園）・地域・関係機関等がいろいろな方面から支え、見守っていくことがとても大切だと考えます。そして、子ども一人ひとりの成長に合わせたかかわりを、適切な時期にしっかりと行っていくことです。そのためにも、これらの連携を深める環境づくりを、皆様とともに進めていきたいと考えています。